

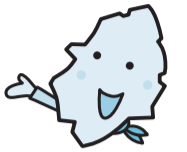
平成21年度下半期の 予算執行状況をお知らせします



市民の皆さんに市の財政運営について知っていただくために、平成21年10月～平成22年3月の予算執行状況をお知らせします。

使用数値は、平成22年3月31日現在のものです。出納整理期間後に確定する決算数値と異なる場合があります。

財政課 田(☎460-9802)



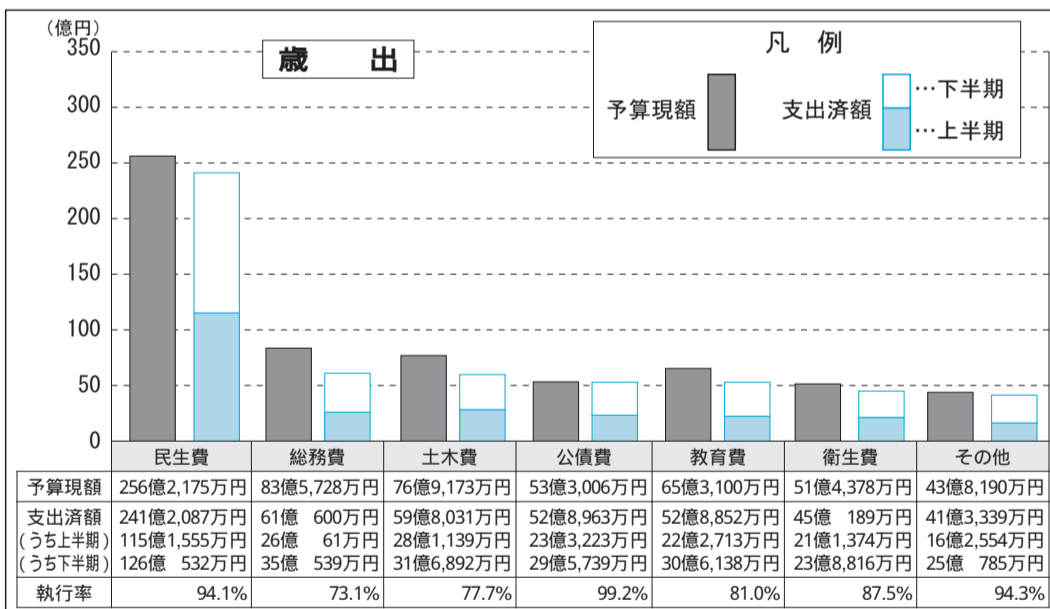
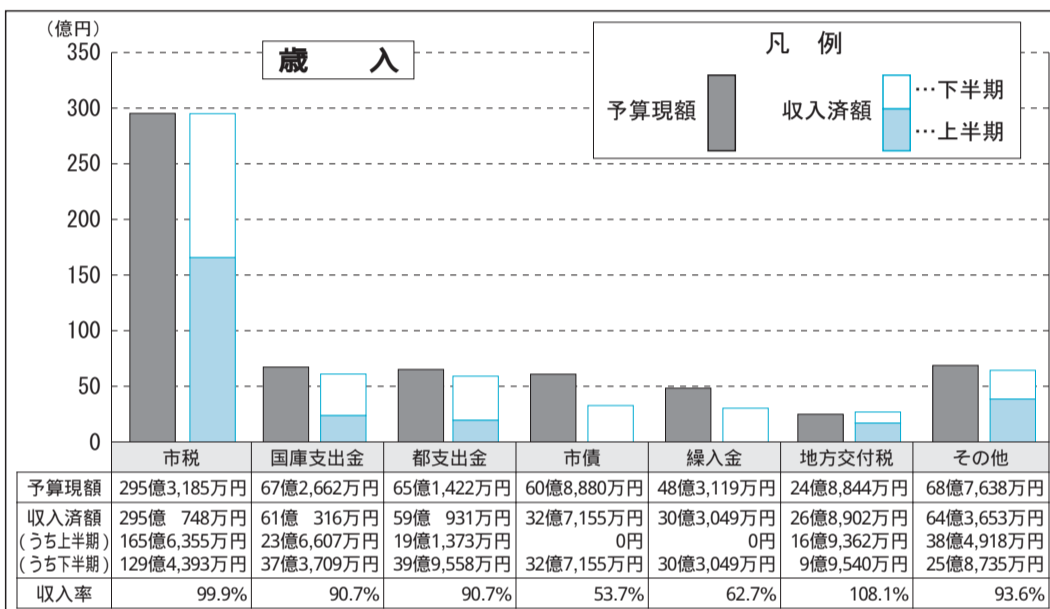
予算の執行状況

平成21年度一般会計当初予算額は、605億8,800万円でしたが、最終予算額は、630億5,749万円となり、当初から24億6,949万円増となりました。歳入歳出予算の執行状況と財産や市債の主な項目については、次のとおりです。

今後も財政構造の弾力性・健全性をより一層高め、行政需要に対する的確な対応を図っていきます。

各表は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計額が総合計額と一致しない場合があります。

平成21年度一般会計予算の執行状況(3月末現在)



各会計予算の執行状況(3月末現在)

会計名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
一般会計	630億5,749万円	549億4,754万円	87.1	554億2,060万円	87.9
国民健康保険	174億972万円	163億464万円	93.7	159億4,204万円	91.6
下水道事業	62億8,456万円	54億4,076万円	86.6	57億6,817万円	91.8
中小企業従業員退職金等共済事業	2億183万円	1億8,645万円	92.4	1億890万円	54.0
老人保健(医療)	4,302万円	4,092万円	95.1	3,594万円	83.5
駐車場事業	1億7,393万円	1億6,471万円	94.7	1億5,894万円	91.4
介護保険	103億7,050万円	93億5,908万円	90.2	89億5,497万円	86.4
保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業	17億9,690万円	15億2,577万円	84.9	15億3,197万円	85.3
後期高齢者医療	29億9,913万円	29億9,830万円	100.0	29億1,306万円	97.1
計	1,023億3,706万円	929億6,817万円	90.8	908億3,459万円	88.8

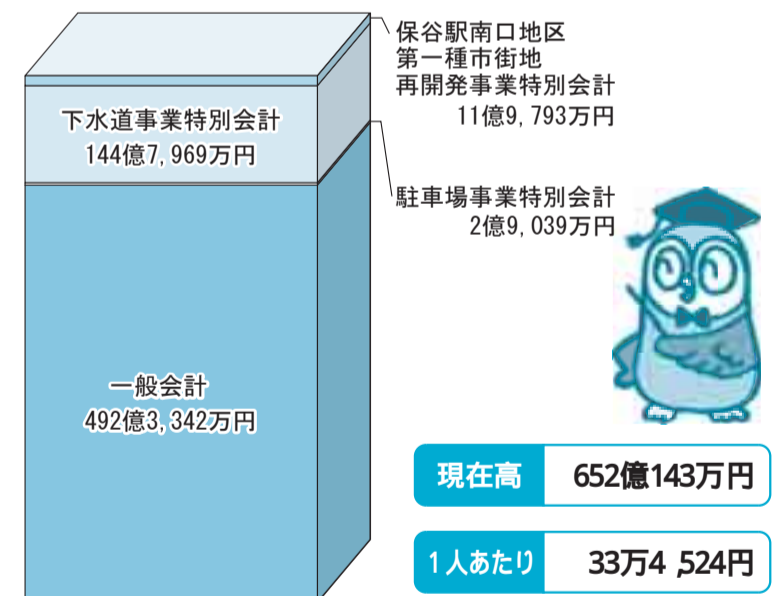
財産の状況(3月末現在)

区分	現在高	備考
土地	72万6,219㎡	
建物	31万5,651㎡	
出資による権利 ^な	8億2,562万円	団体への出資金 ^な
物品	792点	購入価格50万円以上の備品
債権	467万円	生活つなぎ資金貸付金
基金	93億1,126万円	財政調整基金など17基金

基金の内訳

基金の名称	現在高
土地開発基金	4億3,000万円
財政調整基金	33億8,723万円
罹災救助基金	863万円
職員退職手当基金	5億8,933万円
奨学金基金	1億円
スポーツ振興基金	9,122万円
駐車場基金	1億8,917万円
国民健康保険事業運営基金	16万円
国民健康保険高額療養費等及び出産費貸付基金	1,539万円
介護保険高額介護サービス費等貸付基金	302万円
介護給付費準備基金	6億9,399万円
中小企業従業員退職金等共済基金	2億8,439万円
保谷駅南口市街地開発事業基金	1億946万円
振興基金	5,597万円
まちづくり整備基金	29億1,873万円
地域福祉基金	3億7,482万円
介護従事者処遇改善臨時特例基金	5,974万円
計	93億1,126万円

市債の現在高(3月末現在)



市債は、学校や公園などの公共施設を整備するための資金を国や都などから長期的に借り入れたものです。一時的な財政負担を軽くし、将来利用する市民の皆さんにも負担していただくようになっています。「1人あたり」は、平成22年3月31日現在の住民基本台帳登録人口および外国人登録人口の合計(194,908人)を用いて計算しています。

用語解説

一般会計と特別会計

一般会計は、市の予算の中心となる基本的な一般会計です。特別会計は、特定の事業を行う場合や、特定の歳入をもって特定の歳出に充て一般会計とは区分して経理する必要がある場合に設置される会計です。

歳入と歳出

一般会計年度における、すべての収入を歳入といい、すべての支出を歳出といいます。

出納整理期間

年度末までに収入または支出すべきことが確定したものの、未収入または未払いとなっているものについて、その収入または支出を行うための整理期間が設けられています。会計年度終了後の4月1日～5月31日までの期間を、出納整理期間といいます。